

JIDA インハウス女性デザイナー研究会
第 25 期研究報告会のご案内

各位

拝啓、益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

平素より当研究会に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、JIDA インハウス女性デザイナー研究会* 資料 1 では、本年度の研究テーマを「コミュニケーションにおける新しい視座」とし、これまであまり意識されてこなかった“ひとり時間とみんな時間をバランスする”という価値観について研究を進めてまいりました。

この1年間の活動成果について、下記日程にて報告会の開催を予定しております。

つきましては、ご多忙の折とは存じますが、研究報告会にご出席頂きたく、ご案内申し上げます。

敬具

記

- 日時 2012 年 3 月 5 日(月) 16:00～
- 会場 NISSAN DESIGN Offsite Internship Studio
〒153-0061 東京都目黒区中目黒 1-8-1 中目黒 IT ビル1階
(添付の地図をご参照下さい。)
- 内容 受付 15:00～15:50
報告会 16:00～17:00
懇親会 17:00～18:00
- 会費 1500 円
(報告会運営費。当日受付にて徴収。JIDA 事務局より領収書を発行致します。)
- 地図



JIDA インハウス女性デザイナー研究会(代表)
株式会社東芝 千木良 康子
セイコーエプソン株式会社 越 由紀子

JIDA インハウス女性デザイナー研究会(代表)
株式会社東芝 千木良 康子
セイコーエプソン株式会社 越 由紀子

JIDA インハウス女性デザイナー研究会
2011 年度 第 25 期活動趣旨書

JIDA インハウス女性デザイナー研究会では、第 25 期の活動を以下のとおり計画し、進めてまいりました。
今後とも一層のお力添えを賜りたく、宜しく願い申し上げます。

1、運営

(1)研究会メンバー

本会は、社団法人 JIDA の賛助企業のデザイン部署等に所属する女性を主体としてメンバーを構成する。

本年度参加企業(五十音順)

セイコーエプソン(株)/(株)東芝/(株)デンソー/トヨタ自動車(株)

日産自動車(株)/三菱自動車工業(株)/三菱電機(株)

(2)運営委員

運営委員は1年毎の改選とする。

<本年度運営委員>

委員長	千木良 康子	東芝(株)
副委員長	越 由紀子	セイコー・エプソン(株)
会計	嶋田 あずみ	三菱電機(株)
記録/写真	大久保 望	三菱自動車工業(株)
研修/旅行	黒川 亜須可	トヨタ自動車(株)
	倉田 夏子	日産自動車(株)
	青柳 美智子	(株)デンソー

(3)予算

予算が発生する際に、会計担当者がその都度、予算計画書と会計報告書を製作し JIDA 事務局へ提出。

年度末には年間会計報告書を作成、こちらも JIDA 事務局へ提出。

2、活動方針

(1)研究テーマ活動

本会は、メンバーの特性を生かした独自の視点により、通年の研究テーマを設定しこれに沿った活動を行う。

(2)異業種交流体験の充実

各社の特色を生かした体験の場を設け、各自の新しい気づきを促す。

(1)(2)の活動を行うことにより、各メンバーのスキルアップと独自視点の研究報告によって参加企業に資することを目的とする。

(1)本年度研究テーマ

「コミュニケーションにおける新しい視座」

～“ひとり時間とみんな時間をバランスする“という価値観～

(背景)

本研究会では23～24期にかけて、多様化するユーザーの価値観をいかに把握し、求める体験や感覚を掴み取るかをテーマに活動を重ねてきました。その中の一つとして見えてきたのは「ポジティブにひとり時間を楽しむ」という、現代の環境が加速させた価値観。そして去年、我々は未曾有の災害3.11を経験しました。困ったときに助け合える人と人のリアルな結びつきが見直され、「絆」を大切にしたいというメガトレンドが生まれました。

(気づき)

「ひとり時間を楽しむ」という気持ちと、「人とのつながりを大切にしたい」という思いは、別の人間が抱く価値観ではないはず。同じ人間の中でどう住み分けられているのだろうか。

(仮説)

(仮説1)「ひとりでいたい」という気持ちと、「みんなでいたい」という思いは、

誰もが共存させて抱いている価値観であり、人によって欲する場面が異なる。

(仮説2)人によって心地よさと感じるコミュニケーションの濃度が異なり、意識的にコントロールしながら生活をしている。

(調査)

(仮説1)をアンケート調査、(仮説2)を自らの生活観察調査によって検証。

(分析・考察)

調査から、回答者が「ひとり時間」と「みんな時間」に求める質的要素とそのバランスを明らかにしました。生活を丹念に見ていく中で、コミュニケーション濃度をコントロールできるモノ、空間、サービスを無意識的に選びながら生活をしていることが分かりました。

(提案)

最適なコミュニケーションバランスをコントロールするための、コミュニケーション濃度評価指標の提案を行います。

(2)活動計画概要

研究会は毎月一回開催を基本とし、以下の内容で行う。

定例会(体験・テーマ活動) 年10回

研修旅行 年1回

研究報告会 年度末1回

ホームページ作成 定期的アップロード

以上